

(地Ⅲ83)

平成29年7月12日

都道府県医師会担当理事 殿

日本医師会常任理事

松本純一

「精神科病院に入院する時の告知等に係る書面及び入退院の届出等について」の
一部改正について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

今般、刑法の一部を改正する法律により刑法が改正され、平成29年7月13日から施行されること等に伴い、標記通知が改正され、同日から適用することについて、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課長より各都道府県知事、指定都市市長宛通知がなされましたので貴会宛情報提供いたします。

本件は、「精神科病院に入院する時の告知等に係る書面及び入退院の届出等について」の様式18「措置入院者の定期病状報告書」及び様式21「措置入院に関する診断書」の一部を改正（「強姦」の記載を「強制性交等」へ文言変更）するものであり、詳細は新旧対照表をご確認ください。

なお、本件については、厚生労働省より都道府県、指定都市の精神保健福祉主管部局宛にも情報提供がなされております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、貴会管下郡市区医師会、関係医療機関等に対する周知方について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

障精発 0711 第 1 号
平成 29 年 7 月 11 日

都道府県知事
各 殿
指定都市市長

厚生労働省社会・援護局
障害保健福祉部精神・障害保健課長
(公 印 省 略)

「精神科病院に入院する時の告知等に係る書面及び入退院の届出等について」の
一部改正について

日頃より、精神保健福祉行政の推進にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、刑法の一部を改正する法律（平成 29 年法律第 72 号）により刑法（明治 40 年法律第 45 号）が改正され、平成 29 年 7 月 13 日から施行されること等に伴い、標記通知の様式 18 及び 21 を下記のとおり改正し、同日から適用することとしたので、適正な実施に遺憾なきを期されるとともに、貴管下市町村、関係団体等に対する周知につき御配慮をお願いします。

なお、当該様式の変更が平成 29 年 7 月 13 日までに間に合わない場合は、改正後の様式により対応できるまでの当面の間、「強性交等」に該当がある場合について様式の該当箇所を修正すれば足りるものとしします。

記

- 1 様式 18「措置入院者の定期病状報告書」（「精神科病院に入院する時の告知等に係る書面及び入退院の届出等について」平成 12 年 3 月 30 日障精発第 22 号障害保健福祉部精神・障害保健課長通知）の一部改正
別添 1 のとおり改正する。
- 2 様式 21「措置入院に関する診断書」（「精神科病院に入院する時の告知等に係る書面及び入退院の届出等について」平成 12 年 3 月 30 日障精発第 22 号障害保健福祉部精神・障害保健課長通知）の一部改正
別添 1 のとおり改正する。

※ 改正後の様式 18 及び 21 については、別添 2 をご参照下さい。

以上

新		旧	
	障 精 第 2 2 号 平成 12 年 3 月 30 日 一部改正 障精発第 0325001 号 平成 17 年 3 月 25 日 一部改正 障精発第 0929005 号 平成 18 年 9 月 29 日 一部改正 障精発第 1222001 号 平成 18 年 12 月 22 日 一部改正 障精発第 0526003 号 平成 20 年 5 月 26 日 一部改正 障精発 0124 第 2 号 平成 26 年 1 月 24 日 <u>一部改正 障精発 0711 第 1 号</u> <u>平成 29 年 7 月 11 日</u>		障 精 第 2 2 号 平成 12 年 3 月 30 日 一部改正 障精発第 0325001 号 平成 17 年 3 月 25 日 一部改正 障精発第 0929005 号 平成 18 年 9 月 29 日 一部改正 障精発第 1222001 号 平成 18 年 12 月 22 日 一部改正 障精発第 0526003 号 平成 20 年 5 月 26 日 一部改正 障精発 0124 第 2 号 平成 26 年 1 月 24 日
各 都道府県 指定都市	精神保健福祉主管部局長 殿	各 都道府県 指定都市	精神保健福祉主管部局長 殿
	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部精神・障害保健課長		厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部精神・障害保健課長
	精神科病院に入院する時の告知等に係る書面及び入退院の 届出等について		精神科病院に入院する時の告知等に係る書面及び入退院の 届出等について
(略)		(略)	

様式 18

措置入院者の定期病状報告書

(略)

重大な問題行動 (Aはこれまでの、 Bは今後起こるおそれある行動)		現在の精神症状、その他の重要な症状、問題 行動等、現在の状態像 (該当のローマ数字及 び算用数字を○で囲むこと。)	
(略)	A	B	(略)
4 強制性交等	A	B	
(略)	A	B	

(略)

様式 21

措置入院に関する診断書

(略)

重大な問題行動 (Aはこれまでの、 Bは今後おそれある問題行動)		現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行 動等、現在の状態像 (該当のローマ数字及び算 用数字を○で囲むこと。)	
(略)	A	B	(略)
4 強制性交等	A	B	
(略)	A	B	

(略)

様式 18

措置入院者の定期病状報告書

(略)

重大な問題行動 (Aはこれまでの、 Bは今後起こるおそれある行動)		現在の精神症状、その他の重要な症状、問題 行動等、現在の状態像 (該当のローマ数字及 び算用数字を○で囲むこと。)	
(略)	A	B	(略)
4 強姦	A	B	
(略)	A	B	

(略)

様式 21

措置入院に関する診断書

(略)

重大な問題行動 (Aはこれまでの、 Bは今後おそれある問題行動)		現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行 動等、現在の状態像 (該当のローマ数字及び算 用数字を○で囲むこと。)	
(略)	A	B	(略)
4 強姦	A	B	
(略)	A	B	

(略)

様式18

措置入院者の定期病状報告書

平成 年 月 日

殿

病院名

所在地

管理者名

印

措置入院者	フリガナ			生年月日	明治 大正 昭和 平成	年	月	日生 (満 歳)
	氏名	(男・女)						
措置年月日	住所	都道府県	市区	町村				
		昭和平成	年	月	日	今回の入院年月日	昭和平成	年
前回の定期報告年月日	平成 年 月 日							
病名	1 主たる精神障害		2 従たる精神障害		3 身体合併症			
	ICD カテゴリー ()		ICD カテゴリー ()					
生活歴及び現病歴	<p>〔推定発病年月、精神科受診歴等を記載すること。〕</p> <p>(陳 述 者 氏 名 続 柄)</p>							
初回入院期間	昭和・平成 年 月 日 ~ 昭和平成 年 月 日		(入院形態)					
前回入院期間	昭和・平成 年 月 日 ~ 昭和平成 年 月 日		(入院形態)					
初回から前回までの入院回数	計 回							
過去6か月間(措置入院後3か月の場合は3か月間)の仮退院の実績	計 回 延日数 日							
過去6か月間(措置入院後3か月の場合は過去3か月間)の治療の内容とその結果	<p>〔問題行動を中心として記載すること。〕</p>							
今後の治療方針(再発防止への対応含む)								
処遇、看護及び指導の現状	隔 離	i 多様 ii 時々 iii ほとんど不要						
	注意必要度	i 常に嚴重な注意 ii 随時一応の注意 iii ほとんど不要						
	日常生活の 介助指導 必 要 性	i 極めて手間のかかる介助 ii 比較的簡単な介助と指導 iii 生活指導を要する iv その他 ()						

重大な問題行動 (Aはこれまでの、Bは今後起こるおそれある行動)		現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像 (該当のローマ数字及び算用数字を○で囲むこと。)
1 殺人	A B	<p><現在の精神症状></p> <p>I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 ()</p> <p>II 知能 (軽度障害、中等度障害、重度障害)</p> <p>III 記憶 1 記銘障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 ()</p> <p>IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他 ()</p> <p>V 思考 1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 減裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 ()</p> <p>VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 ()</p> <p>VII 意欲 1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他 ()</p> <p>VIII 自我意識 1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ()</p> <p>IX 食行動 1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他 ()</p> <p><その他の重要な症状> 1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存 () 4 その他 ()</p> <p><問題行動等> 1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他 ()</p> <p><現在の状態像> 1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態 4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態 7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態 10 その他 ()</p>
2 放火	A B	
3 強盗	A B	
4 強制性交等	A B	
5 強制わいせつ	A B	
6 傷害	A B	
7 暴行	A B	
8 恐喝	A B	
9 脅迫	A B	
10 窃盗	A B	
11 器物損壊	A B	
12 弄火又は失火	A B	
13 家宅侵入	A B	
14 詐欺等の経済的な問題行動	A B	
15 自殺企図	A B	
16 自傷	A B	
17 その他 ()	A B	
診 察 時 の 特 記 事 項		
本報告に係る診察年月日	平成 年 月 日	
診 察 し た 精神保健指定医氏名	署名	

審 査 会 意 見	
都 道 府 県 の 措 置	

記 載 上 の 留 意 事 項

- 1 内は、精神保健指定医の診察に基づいて記載すること。
- 2 今回の入院年月日の欄は、今回貴病院に入院した年月日を記載し、入院形態の欄にそのときの入院形態を記載すること。(特定医師による入院を含む。その場合は「第33条第1項・第4項入院」、「第33条第3項・第4項入院」又は「第33条の7第2項入院」と記載すること。)なお、複数の入院形態を経ている場合には、順に記載すること。
- 3 生活歴及び現病歴の欄は、他診療所及び他病院での受診歴をも聴取して記載すること。
- 4 生活歴及び現病歴の欄は、前回報告のコピーの添付でもよいが、新たに判明した事実がある場合には追加記載すること。
- 5 平成20年3月31日以前に広告している神経科における受診歴を精神科受診歴等を含むこととする。
- 6 初回及び前回入院期間の欄は、他病院での入院歴・入院形態をも聴取して記載すること。
- 7 重大な問題行動の欄には、Aはこれまでに認められた問題行動を、Bは今後おそれのある問題行動を指し、該当する全ての算用数字、A及びBを○で囲むこと。
- 8 現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像の欄は、一般にこの書類作成までの過去数か月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 9 診察時の特記事項の欄は、被診察者の受診態度、表情、言語的及び非言語的なコミュニケーションの様子、診察者が受ける印象等について記載すること。
- 10 診断した精神保健指定医氏名の欄は、精神保健指定医自身が署名すること。
- 11 選択肢の欄は、それぞれ該当する算用数字、ローマ数字等を○で囲むこと。

様式21

措置入院に関する診断書

申請等の形式		i 親族又は一般人申請 (第22条) ii 警察官通報 (第23条) iii 検察官通報 (第24条) iv 保護観察所長通報 (第25条) v 矯正施設長通報 (第26条) vi 精神科病院管理者届出 (第26条の2) vii 医療観察法対象者 [指定通院医療機関管理者通報、保護観察所長通報] (第26条の3) viii 都道府県知事・指定都市市長職務診察 (第27条第2項)			
申請等の添付資料		i あり ii なし			
被診察者 (精神障害者)	フリガナ			生年月日	明治 大正 昭和 平成 年 月 日 (満 歳)
	氏名	(男・女)			
	住所	都道府県	郡市区	町村区	
	職業				
病名	1 主たる精神障害		2 従たる精神障害		3 身体合併症
	ICD カテゴリー ()		ICD カテゴリー ()		
生活歴及び現病歴 〔推定発病年月、精神科受診歴等を記載すること。〕		(陳述者氏名 続柄)			
初回入院期間	昭和・平成 年 月 日 ~ 昭和・平成 年 月 日 (入院形態)				
前回入院期間	昭和・平成 年 月 日 ~ 昭和・平成 年 月 日 (入院形態)				
初回から前回までの入院回数	計 回				
重大な問題行動 (Aはこれまでの、Bは今後おそれある問題行動)		現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像 (該当のローマ数字及び算用数字を○で囲むこと。)			
1 殺人	A B	<現在の精神症状>			
2 放火	A B	I 意識			
3 強盗	A B	1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 ()			
4 強制性交等	A B	II 知能 (軽度障害、中等度障害、重度障害)			
5 強制わいせつ	A B	III 記憶			
6 傷害	A B	1 記銘障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 ()			
7 暴行	A B	IV 知覚			
8 恐喝	A B	1 幻聴 2 幻視 3 その他 ()			
9 脅迫	A B	V 思考			
10 窃盗	A B	1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸			
11 器物損壊	A B	6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 ()			
12 弄火又は失火	A B	VI 感情・情動			
13 家宅侵入	A B	1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁			
14 詐欺等の経済的な問題行動	A B	5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 ()			
15 自殺企図	A B	VII 意欲			
16 自傷	A B	1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止			
17 その他 ()	A B	6 無為・無関心 7 その他 ()			
	A B	VIII 自我意識			
	A B	1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ()			

(別添2)

		IX 食行動 1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他 () <その他の重要な症状> 1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存 () 4 その他 () <問題行動等> 1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他 () <現在の状態像> 1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態 4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態 7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態 10 その他 ()
診察時の特記事項		
医学的総合判断	I 要措置	II 措置不要
以上のように診断する。	平成	年 月 日
	精神保健指定医氏名	署名

(行政庁における記載欄)	
診察に立会った者 (親権者、配偶者等)	氏名 (男・女) 続柄又は職業 年齢 歳
診 察 場 所	
診 察 日 時	平成 年 月 日 時 分 ~ 時 分
職 員 氏 名	
行政庁の措置	
行政庁メモ	

記 載 上 の 留 意 事 項

- 1 生活歴及び現病歴の欄は、他診療所及び他病院での受診歴をも聴取して記載すること。
- 2 平成20年3月31日以前に広告している神経科における受診歴を精神科受診歴等を含むこととする。
- 3 初回及び前回入院期間の欄は、他病院での入院歴・入院形態をも聴取して記載すること。
- 4 重大な問題行動の欄には、Aはこれまでに認められた問題行動を、Bは今後おそれのある問題行動を指し、該当する全ての算用数字、A及びBを○で囲むこと。
- 5 現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像の欄は、一般にこの書類作成までの過去数か月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 6 診察時の特記事項の欄は、被診察者の受診態度、表情、言語的及び非言語的なコミュニケーションの様子、診察者が受ける印象等について記載すること。
- 7 診断した精神保健指定医氏名の欄は、精神保健指定医自身が署名すること。
- 8 選択肢の欄は、それぞれ該当する算用数字、ローマ数字等を○で囲むこと。